



# 東っ子便り

令和6年11月1日

第13号

大津町立大津東小学校  
校長 太田黒 保宏

10月は、小1～小4が見学旅行へ、そして小6は修学旅行へ行きました。どの学年も、大津南小と一緒に楽しみながらしっかりと学習をしてきました。



## 修学旅行

10月23日から1泊2日で長崎県へ修学旅行に行きました。つい先日、ノーベル平和賞を日本原水爆被害者団体協議会が受賞したこともあり、被爆者の立場で現地学習をする貴重な修学旅行となりました。

南小のお友達と仲良くなりました。  
信頼できる友達をたくさん作って  
いきます。



まず、南小で出発式を行いました。

「長崎では、原爆の被害を受けた歴史と、新たな文明が入ってきた出島など現地でしか学べないことを学習しましょう。そして、南小と東小のみんなが仲良く活動し、思い出深いものにしましょう。」

そのようなことを確認し、長崎を目指しました。

バスの中では、バスガイドさんが人当てクイズなどで楽しく盛り上げていただきました。長崎に近づいてくると被爆当時、山里小学校の先生だった弓井さんのDVD「瞳の中の子どもたち」を視聴しました。更にガイドさんの歌「原爆を許すまじ」を聴いて、子どもたちは胸が詰まった様子でした。

いよいよ城山小での語り部さんの講話です。

「被爆の時は2歳で、母の背中におんぶされていた。」  
「被爆で包帯を身にまとう父に酷いことを言ってしまった。」  
そんな辛く悲惨な体験を伺い、みんな真剣に考えました。  
「いわれのない差別や風評被害は、絶対にあってはならない。」  
「心も体もぐちゃぐちゃで残酷だと思った。」  
「家族がバラバラになったら悲しい。私たちが平和を呼びかけたい。」

「戦争中は食べたいものも食べられなくてかわいそう。」  
「今も戦争をしている国があるけど、早く止めてほしい。」

このような感想を子どもたちは述べました。

次は、平和祈念館での平和集会です。誓いの言葉をみんなでお伝え、千羽鶴を奉納しました。歌「折り鶴」を神妙な面持ちで気持ちを込めながら歌うことができました。

「まだまだ知らないことがあることに気がきました。」  
そう述べた子どもは、現地で多くの収穫があったようです。

その後、原爆資料館で当時の資料を見ました。「焼き場に立つ少年」は、亡くなった幼子を背負う少年の写真です。その写真を見て、ただならぬ状況であることは誰もが想像できます。子どもたちは、その説明を読みながら表情が硬く、暗いものになりました。一つ一つが衝撃的な資料で、平和の大切さを痛感したようでした。

爆心地等のウォークラリーでは、ボランティアさんの説明を記録を取りながら聞き入る子どもたちがいました。

「戦争はこりこりだ。」そんな永井隆博士の言葉をかみしめながら如己堂、平和祈念像などを見学しました。とても充実した学び多き1日目でした。ホテルでの生活は言うまでもありませんが、とても楽しそうでした。

2日目はハウステンボスです。ここでは、東小だけで行動しました。6年生4人の楽しい思い出を作ることができました。

とても思い出深い修学旅行となりました。



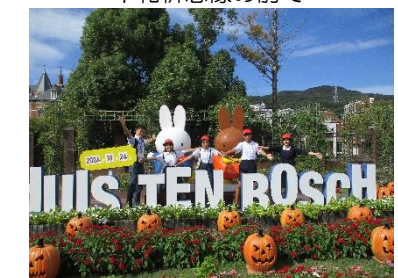
語り部さんの講話



浦上天主堂の説明



平和祈念像の前で



ハウステンボス

## 運動会練習 本格的に始動！

来る11月10日（日）は、大津東小学校の運動会です。9月から準備を進め、現在全体練習をしているところです。

今年は、全児童による“台風の目”や“ソーラン節”など、例年と違う種目や形式を取り入れています。PTA種目や来場者種目も実施予定です。

37名の全校児童が、疾走し、力強くも華麗に舞い、全力を尽くします。それは、子どもたちの大きな思い出の一つになることでしょう。乞うご期待です。

11月1日現在、10日の天候は曇りの予報です。運動場で多くの方々に日々の成果を発表できることを祈念します。



全員リレー（1年生スタート）



台風の目（体育館練習）

## 大津町児童生徒集会

10月26日に、大津北中学校で児童生徒集会がありました。本校児童11名を含め700名程の児童生徒が一堂に会した集会です。

「ここに集うみんなで部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくしていきましょう。」

そんな中学生の上手な進行で開会しました。

実践発表では、児童会や生徒会の目標や人権スローガンを伝えた上で、実際の取組について発表しました。そこには、子どもたちが自己を見つめ葛藤する姿とともに、強い気持ちでなかまと差別に立ち向かう様子が伝えられました。それを聴いて、多くの児童生徒からお返しがありません。

「人を見た目で判断しないこと。人を知るにはその人と関わっていくことから始まります。」

「相手の気持ちを知ることが大切です。」

「自分の発言や行動に責任を持っていきたいです。」

「発表を聴いて、（あの時）泣いている友達に話しかけた方がよかったと気づき、反省しました。」

「友達にあだ名を付けた経験があり反省しています。」



更に、中学生が上手に講評を述べました。どれもがとても素晴らしいものでした。学校に到着して子どもたちは、“参加して良かった”、“自分たちが元気を貰った”といった感想を述べました。集会前と比べてみんなの表情はとても優しく柔らかく、しかし何かに気付いた輝いた目をしていました。とても学び多き集会でした。さあ、命を大切にする視点を確認して、新たなスタートです。

## “稲刈り” 終了！

10月18日は、全校で稲刈りをしました。稲刈りの指導を地域コーディネーターの内村さんに、刈り取りの応援に保護者の方が11名お越しいただきました。

コンバインでの刈り取りを見学した後、内村さんの合図で刈り取りを始めました。

1年生は稲刈り鎌を初めて使います。最初は、慣れない様子でしたが、5分も経てば上手に刈り取っていました。

その様子は、地方新聞の朝刊（10月27日）14面に掲載されました。

「ざくざく刈れて楽しかった。おいしいお餅を食べたい。」

子どもたちの感想から、素晴らしい経験になったことを感じました。

12月7日の親子ふれあいフェスタが楽しみです。



コンバインのデモンストレーション



刈り取った稲

大津東小ホームページもご覧ください！

大津東小学校 検索

